

期でもあると思われます。

臨床科目の勉強により、改めて自分たちが本当に医師となるのだということを考えさせられたり、部活動で責任ある立場に立ったりと状況が変わってくるにつれ、同級生たちと改めて医師についてや、将来のことについてなどの話をする、今までとはまた異なる話の流れになっていくことに気づきます。こうやって周囲の仲間と話をしながら将来の方向性や考え方などが形作られていくのかと思うと、今おこなっている事柄に対して常に一生懸命に取り組んでいかねばとの思いを新たにします。このような忙しい日々を過ごしながら、沖縄の海に癒されながら今後も頑張っていきたいです。

写真は、休憩時間の一風景です。仲間たち皆で無事進級していければと思います。



## 2年次の近況報告

坂野 孝裕 (2年次)

### 2年前期を終えて

34期2年の坂野です。今年の4月から、他の4人の仲間とともに、2年次編入生として琉球大学医学部医学科の仲間入りをさせてもらうことになりました。前期では、解剖学各論・神経解剖学・神経生理学・生化学について学び、解剖学の実習も行いました。でいご会総会ではご遺族の方とお話しできる機会もあり、実習では生命を預かることの責任を感じることができました。

編入生のためのカリキュラムはやることも多くで大変でしたが、現役で入ってきた人たちや、先生方のフォローに助けられ、前期を終えることができました。長い夏休みも終わって後期に入り、私たちは引き続き基礎科目の勉強に勤しんでいます。

ここで、新入りとして34期に対する印象を申し上げますと、親しみやすく、話しやすいけれど、がんばるときはすごい集中力を出して勉強ができる人たちだ、ということです。勉強に部活、アルバイトと日々忙しく過ごす同期たちのバイタリティに驚かされ、よい意味での刺激や、もっと自分もがんばらなくては、という危機感をもらっています。

私事になりますが、編入生には、長く研究に携わっていた者や、医療系の職業で経験を積んできた者、海外の大学で勉強してきた者などがおり、いろいろな経歴を経て縁あって琉球大学に入学することができました。年長者として範を示すべき責任を持ちつつも、同期のみんなと切磋琢磨して、忙しい大学生活を送ることができること、医師という責任とやりがいのある仕事を目指せることを、本当に嬉しく思っています。



## 1年次の近況報告

又吉 貴也 (1年次)

### 「後期開始」

こんにちは。1年次副年次長の又吉貴也です。大学生活にはもうすっかり慣れ、新たな体験がおおく、充実していた夏休みもあっという間に過ぎ去って、後期がスタートしました。後期で本格的に専門科目が始まるにあたって一番衝撃だったのは教科書の分厚さと価格です。なんと英語で書かれた教科書もありました。中身をパラパラめくってみてもとても難しい内容ばかりです。でもそれを日々の授業と自宅学習で理解していくのはなんだか自分が医師に一步一步近づいている実感を持つことができ、とても嬉しいです。勉強会を班ごとに開いてテスト対策をしたり、情報を学年全体で共有したりなど、年次内も入学してきた当初よりもかなり親しくなっているように思います。テストが多く、しばらくは忙しい日々が続きますが、同学年の仲間たちと協力し合い、また優しい先輩方のアドバイス等をしっかり聞きながら、医学生としての自覚をもって頑張っていきたいと思っています。

